

KDDI DNSホスティングサービス セットアップガイド

Rev. 2.6

はじめに

このたびは「KDDI DNSホスティングサービス」をご利用いただき、誠にありがとうございます。
本紙『セットアップガイド』では、「KDDIホスティングサービス」と併用しているお客さま向けにデフォルト(標準)のレコード設定内容を参考情報として記しております。 実際設定する際は、お客さまのご利用環境にあわせて設定してください。
今後ともKDDI法人向けサービスをよろしく願いいたします。

お困りの時はこちらへ

法人お客さまセンター

コントロールパネルの使い方が分からないなど、お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

お問い合わせフォーム

<https://www.kddi.com/business/support/contact/cloud/>



0077-7007 <無料>

(音声案内の4を選択してください)

受付時間 平日9:00~18:00

(土・日・祝日および年末年始を除く)

ご契約内容の変更・ご確認は KDDI法人営業担当者もしくは法人お客さまセンターへ

※本ドキュメント内で書かれているドメイン名「example.co.jp」は仮の名前のものです。また、IPアドレスはグローバルIPアドレスでなく、プライベートアドレスで記載しております。設定する際は、お客さまの環境に置き換えて行ってください。

サーバー利用開始までの流れ

新規のお客さま – はじめてドメイン名を取得されたお客さま

ページ

KDDI

開通通知書

お申込後、約2週間でドメイン名の取得とゾーン
の作成を行ない、KDDIより開通のお知らせ
をお申込者宛てにメールで送付いたします。

5

お客さま

コントロールパネルにログイン

コントロールパネルにログインし、お客さまの
ゾーンを確認します。(ゾーンはKDDIが作成し
ております)

7

お客さま

パスワード変更
レコードの作成

コントロールパネルにて、お客さまのパスワー
ドおよび、設定したいレコードを登録・確認し
ます。

9

10

12

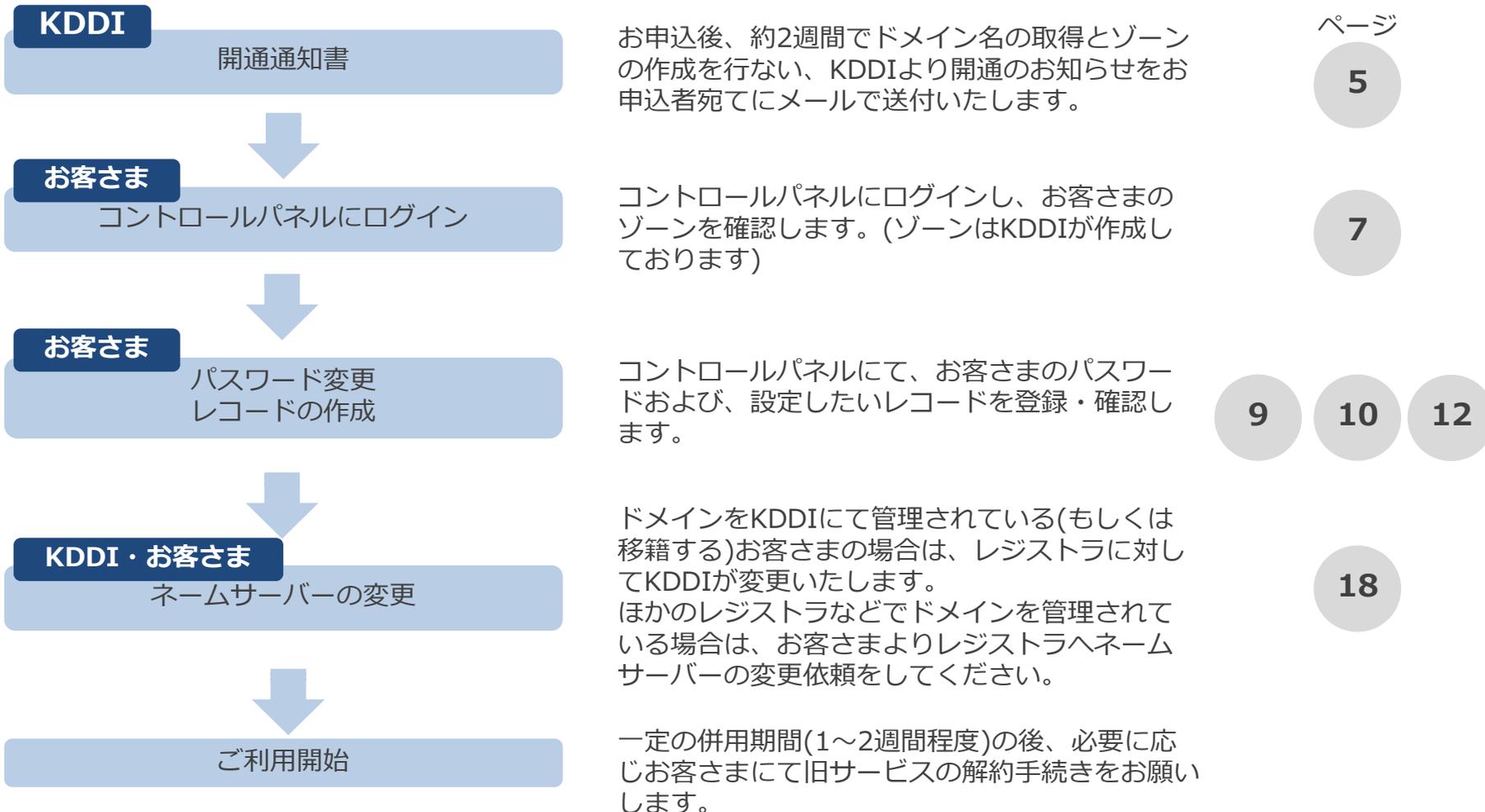
お客さま

ご利用開始

サーバー利用開始までの流れ

移転のお客さま

－他社サービス、「KDDI ホスティングサービス (プラン20/50/100)」などから移転されたお客さま



開通通知書

サーバーの設定(ゾーン作成)完了後、KDDIより開通の通知メールが届きます。

差出人： KDDI法人お客さまセンター
件名：【重要】KDDI DNSホスティングサービス開通のご連絡

本文：

KDDI DNSホスティングサービス 開通のご連絡(開通通知書)

〇〇株式会社 御中

この度は、「KDDI DNSホスティングサービス」をご利用いただきまして誠に有難うございます。

お客さまの登録が完了しましたことをご報告申し上げます。

送付致しました内容につきまして、ご質問などがございましたら、弊社お問い合わせ窓口までご連絡ください。

<ご契約内容>

- ご契約ドメイン名 : example.co.jp
- ご契約プラン : KDDI DNSホスティングサービス 正引きタイプ
- KDDIアクセス番号 : xxxxxxxxxx
- ご利用開始日 : 2008/4/22
- 課金開始日 : 2008/4/25
- ネームサーバー設定変更日 : 2008/4/26 17:00 (or AM/PM)

info

お客さまがDNSレコードの設定を行う上で重要な情報がありますので、**本メールを削除しないようご注意ください、大切に保管**いただけますようお願い申し上げます。

(弊社へお問い合わせいただく際に「KDDIアクセス番号」などが必要となります)

info

お申し込み時にご記入いただいたお客さまご担当者様のメールアドレスへ送信します。

お客さまのメール環境にて迷惑メールフィルタを使用していて、**迷惑メールと判定された場合は、届かない可能性**もございます。その場合、隔離BOXをご確認いただくか、2週間(10営業日)経っても確認できない場合は、弊社法人お客さまセンターまでお問い合わせください。

.....
.....

開通通知書の詳細

ご契約内容	
ご契約ドメイン名	お客様のドメイン名です。
ご契約プラン	ご契約されたプラン名です。
KDDI アクセス番号	アクセス番号となります。弊社へお問い合わせの際にお伝えいただく番号となります。
ご利用開始日	この日からご利用することができます。
課金開始日	この日から料金が発生いたします。
(ネームサーバー設定変更日)	(一部の場合のみ) ネームサーバーを変更する日時
ご契約サーバー情報	
DNSサーバー(プライマリ)	プライマリのDNSサーバー名です。
DNSサーバー(セカンダリ)	セカンダリのDNSサーバー名です。
コントロールパネルへのログイン情報	
URL	お客様のコントロールパネルのURLです。
ユーザーID	コントロールパネルにログインするIDです。
初期パスワード	ログインパスワードです。
サポート	
お問い合わせフォーム	ご不明点などはこちらのフォームからお問い合わせいただけます。
障害・保守情報	障害発生時や、保守情報はこちらに掲載いたします。

ご提供機能

■ 以下の機能をコントロールパネルから閲覧、編集などが行えます。

正引き関連	ゾーン情報の閲覧 (※1)
	SOAレコードの閲覧・編集 (※2)
	MX,A,CNAME,TXT(※3),NS,TXT(SPF) ,SRV,HINFOレコードの作成・削除・編集・閲覧
逆引き関連 (※4)	ゾーン情報の閲覧 (※1)
	SOAレコードの閲覧・編集 (※2)
	PTR、NS、CNAMEレコードの作成・削除・編集・閲覧
その他	ログインパスワードの変更

※1 ゾーンの実行はお客様側では行えません。

※2 編集可能なのはTTL値のみです。

※3 Domainkeys、DKIM (DomainKeys Identified Mail) 、DMARC (Domain-based Message Authentication, Reporting & Conformance) には対応していません。

※4 逆引き機能がご利用いただけるのは、KDDI インターネットから払いだされたIPアドレス空間のみとなります。

コントロールパネルにログイン

「コントロールパネル」へログインし、パスワードの変更および、レコードの設定作業を行います。

1 ブラウザからアクセスします。



アドレスの欄に、開通通知書記載のURL(コントロールパネルへのログイン情報)を入力します。
(図は入力例です)

2 ユーザー名とパスワードを入力します。

A screenshot of a login form. On the left is a blue box with the text "ユーザログイン". To the right are two input fields: "ログインID" and "パスワード". Below the fields is a note: "※全て半角にてご入力ください". A "ログイン" button with a key icon is located to the right of the note.

開通通知書記載のユーザーIDとパスワードを入力します。

コントロールパネルの概要(メニュー画面)

お客さまのご契約ゾーンの表示とログインパスワードの変更が行なえます。



お客さまのゾーンの一覧を表示いたします。ゾーンはKDDIで作成しております。レコードの作成はこちらから行なえます。



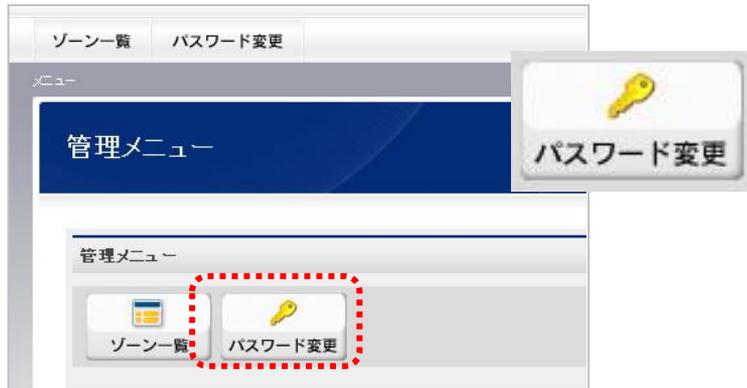
お客さまのログインパスワードはこちらから変更できます。

パスワードの設定

初回ログインの場合、コントロールパネルのパスワードを変更します。

- ・パスワードの変更は必須ではありませんが、強くおすすめいたします。

1 【管理メニュー】から【パスワード変更】を選び、新旧のパスワードを入力し、【完了】します。



2 メッセージボックスで[OK]をクリックして新しいパスワードを確定させます。



info パスワードに使用できる文字は半角英数A-Z、a-z、0-9で、けた数は8～16けたまでの間となります。

info 変更したパスワードは忘れないよう、ご注意ください。また、定期的に変更することをおすすめいたします。

ゾーン情報の参照

お客さまのゾーン情報を確認します。

- ・お申し込みいただきましたゾーンはKDDIで作成しておりますので、ご確認ください。
- ・正引きタイプの場合は正引きゾーンのみ、逆引きタイプの場合は逆引きゾーンのみ、正引き+逆引きタイプそれぞれで ゾーンをご覧になれます。

1 【管理メニュー】から【ゾーン一覧】を選ぶと、一覧画面を表示します。



【編集】レコードを編集できます。



【詳細】ゾーン情報を参照できます。

この例は、「正引き+逆引きタイプ」の例です。
正引きゾーン、逆引きゾーンの合わせて2ゾーンを表示しております。

ゾーン情報の参照

2

【ゾーン一覧】より確認するゾーンに対して、【詳細】をクリックします。
新規ウィンドウで表示します。

例: example.co.jp. 正引き

閉じる 編集

SOA情報

プライマリサーバ ns.secure.ne.jp.
管理者メールアドレス admin.secure.ne.jp.
レス
Refresh 3600
Retry 3600
Expire 604800
TTL 3600

レコード情報

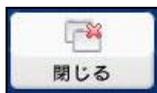
ホスト名	レコード種別	データ
ゾーンプレビュー		
\$ORIGIN ns.secure.ne.jp. \$TTL 3600 ; 1 hour example.co.jp. IN SOA ns.secure.ne.jp. admin.secure.ne.jp. (901280000 ; serial 3600 ; refresh (15 minutes) 3600 ; retry (10 minutes) 604800 ; expire (1 day) 3600 ; minimum (1 hour)) IN NS ns.secure.ne.jp.		

PAGETOP

SOA情報

SOA(Start Of Authority)レコードの情報となります。

プライマリネームサーバー	KDDIで設定致しましたお客さまのプライマリDNSサーバー名です。(編集不可)
管理者メールアドレス	DNSサーバーの管理者アドレスです。お問い合わせはこのアドレスでなく、KDDI法人お客さまセンターへご連絡ください。
Refresh	「更新頻度(秒)」(編集不可)
Retry	「リトライ間隔(秒)」(編集不可)
Expire	「失効期間(秒)」(編集不可)
TTL	「キャッシュの有効期間(秒)」(編集可) ほかのDNSサーバーがキャッシュする際の有効期間となります。編集可能な範囲は120(2分)~86400(1日)となります。



【閉じる】このウィンドウを閉じます。



【編集】レコードの編集画面へ移ります。

レコード情報

登録されているレコード情報です。
お客さまがレコードを登録すると、登録内容が表示されます。

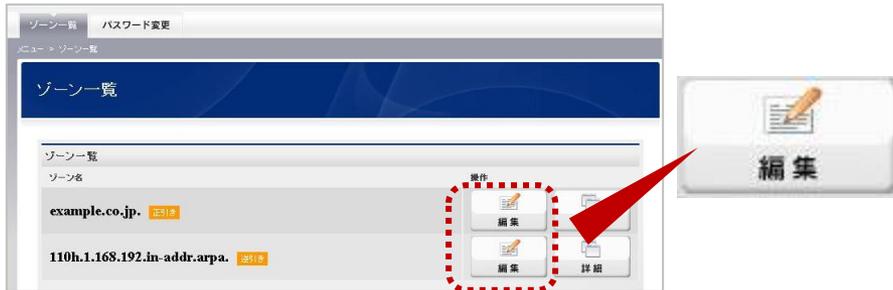
ゾーンプレビュー

実際にDNSサーバーに書かれている情報を表示します。

レコードの編集

お客様のレコードを設定します。

- 1 【ゾーン一覧】より確認するゾーンに対して、【編集】をクリックします。
新規ウィンドウで表示します。



レコード情報



新規にレコードを追加します。
クリックすると、新しいレコードを登録できます。

SOA情報



TTL値を変更できます。
サーバー切り替えのためにレコードを変更する前
など特別な場合のみ使用します。

レコードの編集

2

【レコードを追加する】をクリックして、新しいレコードを設定します。
複数回クリックすると複数個登録できます。

レコード情報

ホスト名	レコード種別	データ
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>

  レコードを追加する

レコード情報

ホスト名	レコード種別	データ
example.co.jp.	NS	nsk0.secure.ne.jp.
example.co.jp.	NS	nsk1.secure.ne.jp.
www.example.co.jp.	A	192.168.1.101
ftp.example.co.jp.	A	192.168.1.101
example.co.jp.	MX	10 mx1.example.co.jp.
example.co.jp.	MX	20 mx1.example.co.jp.
mx1.example.co.jp.	A	192.168.1.111
mx2.example.co.jp.	A	192.168.1.112

         レコードを追加する

レコード情報

設定するレコードの情報を記入します。

ホスト名	正引きの場合、FQDN(最後に「.」)で登録します。詳しくは、ヘルプまたは、別頁「DNSのレコードの書き方」以降をご参照ください。
レコード種別	設定するレコード種別(レコード名)を選びます。 正引き: 「A」 「CNAME」 「MX」 「NS」 「TXT」 など 逆引き: 「PTR」 「NS」 「CNAME」 など
データ	定義を行ないます。書き方のサンプルは【ヘルプ】または、別頁「FAQ」をご参考にしてください。



【ごみ箱】 該当のレコード情報を削除します。



【確認】 確認画面へ移ります。



【レコード情報のヘルプを表示】でレコードの記述方法の詳細を表示します。

※ レコードの編集時は半角小文字で入力してください。

レコードの編集

3

【確認】をクリックして、新しいレコードを確認します。
確認後、【完了】ボタンをクリックすると、DNSサーバーへレコードが登録されます。
【戻る】ボタンをクリックすると、ゾーン編集画面へ戻ります。



レコード情報

先ほど設定したレコードの情報です。

ゾーンプレビュー

実際にDNSサーバーへ登録される内容のプレビューです。

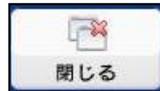


【完了】編集を完了し、DNSサーバーへレコードを登録します。



【戻る】編集画面へ戻ります。

※【完了】をクリックしてサーバーに反映されるまでに時間(2分～1日)がかかります。1日待ってもサーバーに反映されない場合は該当箇所を削除して【完了】をクリック→再度該当箇所を設定して【完了】をクリックをお試しください。



【閉じる】このブラウザを閉じます。



【編集】編集画面へ移ります。

レコードの書き方(ヘルプ)

レコードの入力方法に困った時は、ヘルプを参考にして入力してください。

【レコード情報のヘルプを表示】をクリックすると、入力のサンプルが表示されます。

ヘルプ

ホスト名の後部にドット「.」がない場合は、ゾーン名で補充されます。
例: ゾーン名がexample.ne.jpで、ホスト名にwwwと入力した場合、www.example.ne.jpと補充された状態でDNSが設定されます。

TTL(SOA) キャッシュ有効期限を秒で指定します。
例: 3600(=24時間)

[レコード情報のヘルプを表示](#)

入力のサンプル

ヘルプ

ホスト名の後部にドット「.」がない場合は、ゾーン名で補充されます。
例: ゾーン名がexample.ne.jpで、ホスト名にwwwと入力した場合、www.example.ne.jpと補充された状態でDNSが設定されます。

TTL(SOA) キャッシュ有効期限を秒で指定します。
例: 3600(=24時間)

レコード情報のヘルプを表示

PTR 使用できる文字種: **ドメイン形式**
IPアドレスに対するホスト名を指定します。
例: 1.0.168.192.in-addr.arpa PTR www.example.com

NS 使用できる文字種: **ドメイン形式**
指定ゾーンを管理するDNSサーバ名を指定します。
例: 1.0.168.192.in-addr.arpa NS ns0.secure.ne.jp

CNAME 使用できる文字種: **ドメイン形式**
ホスト名に対する別名を指定します。
例: www2.example.com CNAME www.example.com

ドメイン形式 ドメイン形式 + ドットで入力してください。
例: ns0.secure.ne.jp

ヘルプ

ホスト名の後部にドット「.」がない場合は、ゾーン名で補充されます。
例: ゾーン名がexample.ne.jpで、ホスト名にwwwと入力した場合、www.example.ne.jpと補充された状態でDNSが設定されます。

TTL(SOA) キャッシュ有効期限を秒で指定します。
例: 3600(=24時間)

レコード情報のヘルプを表示

A 使用できる文字種: **IPアドレス形式**
ホスト名に対するIPアドレスを指定します。ホスト名を省略した場合、ゾーン名と同一ホスト名のIPアドレスとなります。
例: www.example.com A 192.168.0.1

MX 使用できる文字種: **MX形式**
転送先メールアドレスと優先度を指定します。
例: example.com MX 10 mail.example.com

NS 使用できる文字種: **ドメイン形式**
指定ゾーンを管理するDNSサーバ名を指定します。
例: example.com NS ns0.secure.ne.jp

HNINFO 使用できる文字種: **seg形式**
ホスト名に対する付加情報(ハードウェア、ソフトウェア情報等)を指定します。
例: example.com HNINFO hardware OS

CNAME 使用できる文字種: **ドメイン形式**
ホスト名に対する別名を指定します。
例: www2.example.com CNAME www.example.com

TXT 使用できる文字種: **seg形式**
任意のテキスト文字列を指定できます。
例: 0-255までの数値をドット区切りで4バイトまで入力してください。
例: 192.168.0.1

ドメイン形式 ドメイン形式 + ドットで入力してください。
例: ns0.secure.ne.jp

MX形式 0-32までの数値 + 半角スペース + ドメイン形式 + ドットで入力してください。
例: 10 ドメイン形式

seg形式 ASCII文字コード表のSRVベースから(フィル)までの文字で入力してください。

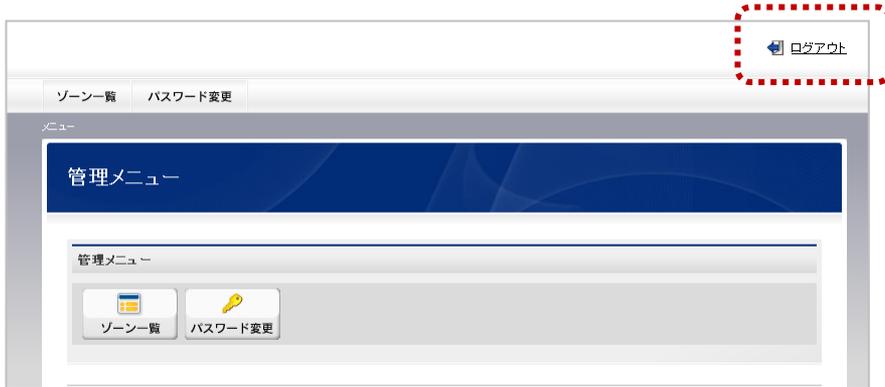
逆引きゾーンの場合

正引きゾーンの場合

ログアウト

ログアウトします。

- 1 画面右上の【ログアウト】をクリックします。初期ログイン画面に戻ります。



編集可能なレコード一覧

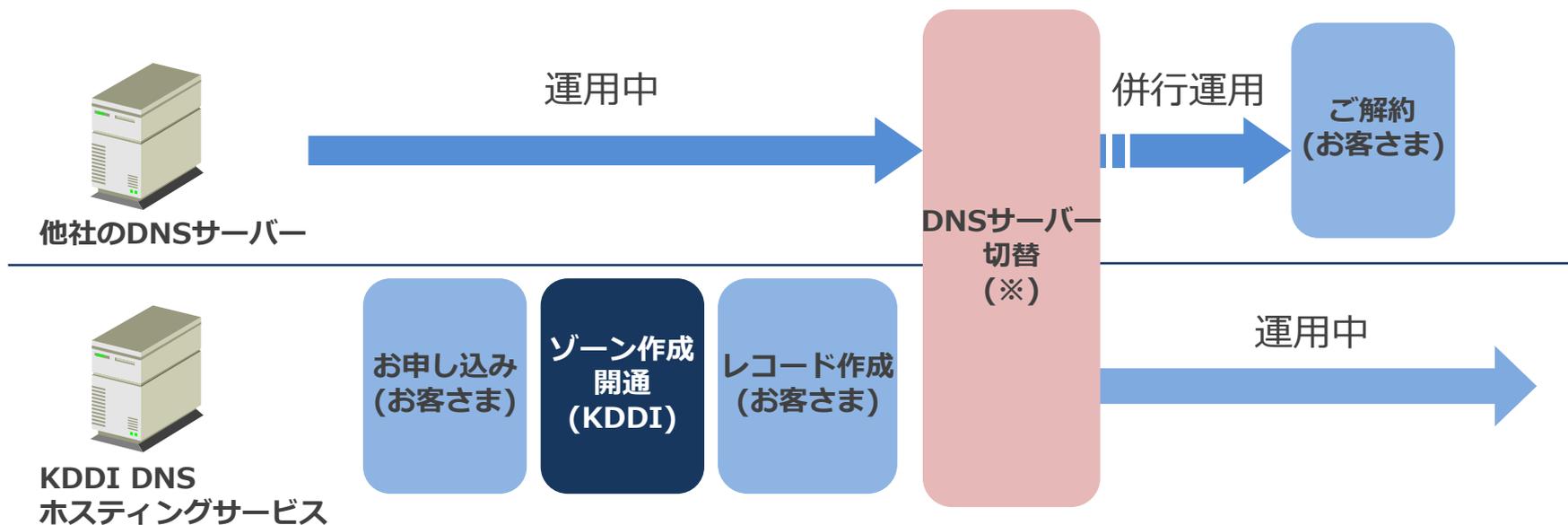
お客さまにて編集可能なレコードの一覧

ゾーン	レコードの種類	備考
共通	SOAレコード	TTL値のみ編集可能
正引き	Aレコード	
	MXレコード	
	CNAMEレコード	
	NSレコード	
	TXTレコード(SPFレコード)	
	SRVレコード	
	HINFOレコード	
逆引き	PTRレコード	逆引きについては、KDDIインターネットご契約のIP空間のみの提供です。
	NSレコード	
	CNAMEレコード	

ネームサーバーの変更(他社などからの移転について)

他社などからDNSサーバー移転されるお客さまはご確認ください。

DNS変更作業により変更した情報はすぐに切り替わるのではなく、徐々に反映されていきますので、DNSサーバーを今回「KDDI DNSホスティングサービス」へ切り替えたお客さまは、旧DNSサーバーの運用を暫らくの間(1週間ほど)継続されることをおすすめいたします。



※ ドメインの指定事業者がKDDI、またはKDDIへドメイン取得代行をお申し込みされた場合は、KDDIが行ないます。

ドメインをお客さまにて管理されている場合(他事業者をお使いの場合)、ドメイン維持管理業者へDNSサーバーの変更依頼(JPRSなどへのデータベース更新依頼)をお客さまより行なってください。

FAQ

Question	Answer
コントロールパネルのユーザーID、パスワード(お客さまサーバー情報)を忘れた!	法人お客さまセンターまでお問い合わせください。(アクセス番号をご用意ください) http://www.kddi.com/business/support/contact/data-center/
コントロールパネルで設定できるレコード数の上限は?	1ゾーンに対して300レコードまでとなります。(正引きゾーン、逆引きゾーンそれぞれ)
コントロールパネルでレコードを設定したら、エラーが表示された!	レコードの内容に不備があると推測されます。ご確認ください。
利用タイプを変更したい(「正引きタイプ」から「正引き+逆引きタイプ」にしたい)	KDDI法人営業担当者もしくは、法人お客さまセンターへお問い合わせください。変更の申込書をご記入いただければ、KDDIにてゾーンを作成いたします。
利用タイプを変更する場合に費用はかかるか?	いいえ、費用はかかりません。
追加契約をする場合、現在利用中のユーザーIDと同じにできるか?	はい、可能です。申し込み方法は、KDDI法人営業担当者もしくは法人お客さまセンターへお問い合わせください。ユーザーIDを同じにした場合、新しいゾーンは現在のコントロールパネルのゾーン一覧に追加されます。
参照用(キャッシュ)サーバーとして使えるか?	本サーバーはコンテンツサーバーとなります。参照用のサーバーはご契約中のISPが提供するものをご利用ください。
サブドメインを追加したい。	サブドメインのゾーンについては別途ご契約になります。サブドメインのゾーンを開通後、親ドメイン内で、権限委譲(NSレコード)させればご利用になれます。
登録したレコードが反映されないのですが。	編集画面で【完了】をクリックされていない場合反映されません。また【完了】をクリックされた場合でもTTL値の設定により反映されるまでに時間(2分~1日)がかかります。1日経っても反映が確認できない場合は該当箇所を削除して【完了】をクリック → 再度該当箇所を設定し【完了】をクリックをお試しください。

FAQ

Question	Answer
登録できる文字種と制限は？	<ul style="list-style-type: none">■レコード種別が「SRV」「TXT」「HINFO」以外の制限事項<ul style="list-style-type: none">• ご使用いただける文字種は、以下の通りです。<ul style="list-style-type: none">全角文字： ご使用いただけません半角文字： ASCIIコードの英小文字、数字、半角記号「-」（ハイフン）、「.」（ドット）」• 半角記号は、最初および最後、連続してご使用いただけません。• ご使用いただける文字数は、「ホスト名.（ドット）ドメイン名.（ドット）」の形式で 1 ～ 256 文字です。 ■レコード種別が「TXT」「HINFO」の制限事項<ul style="list-style-type: none">• ご使用いただける文字種は、以下の通りです。<ul style="list-style-type: none">全角文字： ご使用いただけません半角文字： ASCIIコードの英数文字、半角スペース、半角記号「!」「"」「#」「\$」「%」「&」「'」「(「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「<」「=」「>」「?」「@」「[「]」「¥」「^」「_」「`」「{」「 」「}」「~」• ご使用いただける文字数は、 1 ～ 256 文字です。• “.”など、記号を続けて入力することはできません。 ■レコード種別が「SRV」の制限事項<ul style="list-style-type: none">• ご使用いただける文字種は、以下の通りです。<ul style="list-style-type: none">全角文字： ご使用いただけません半角文字： ASCIIコードの英小文字、数字、半角記号「-」（ハイフン）、「.」（ドット）」• 半角記号は、最初および最後にご使用いただけません。• ドットで区切られた1番目と2番目の正しい文字列は「アスタリスクか、アンダースコアで始まり、半角英数字、ハイフンが続く文字列」です。• ドットで区切られた3番目以降の正しい文字列は、ドットの前後が半角英数字以外です。• ご使用いただける文字数は、「ホスト名.（ドット）ドメイン名.（ドット）」の形式で 1 ～ 255 文字です。

サービスにおけるご注意事項

■ サービスにおけるご注意事項：

- ・ 割り当て済みドメインで、DNSサーバーの切り替えを行なう場合、JPRSなどのレジストラへの登録日はお申し込み時にご指定できます。開通後はご指定の日までにお客さまにてレコードの設定をいただけますようお願い申し上げます。
- ・ 国際化ドメイン(日本語.jpなどの2バイト文字)についてはご利用いただけません。
- ・ IPv6には対応していません。
- ・ 1ゾーン当たりのレコードの最大数は300となっております。301以上のレコードは登録できませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 共用型のサービスなので、パフォーマンスにおいてほかのお客さまの影響を少なからず受ける場合がございます。
- ・ TTL値はサーバー切り替えのための変更時など特別な場合以外は極力設定はお控えください。また、切り替えが終了しましたらもとの値(86400)に戻していただくようお願いを申し上げます。短いままですとDNSサーバーの負荷がかかり応答に影響することもございます。
- ・ レコードの設定内容につきましては、お客さまにて十分ご確認の上設定してください。万が一、レコードの内容に不備があり、お客さまにトラブルが発生しても、当社では保証は致しかねます。
- ・ 本サービスではお客さまレコードの設定代行は承れません。
- ・ 開通通知については、メールとなりますので、お客さまのメール受信環境にはご注意ください。
もしもお申し込み後10営業日経ってもお手元に届かない場合は、法人お客さまセンターへお問い合わせください。
- ・ DNSサーバーは冗長化を行なっておりますが、万が一双方にて同時に障害が発生した場合は、サービスが停止する場合がございます。
- ・ 本サービスはSLAを提供しておりません。

■ 契約・料金におけるご注意事項：

- ・ 最低利用期間がございます(6カ月)。これ以前にご解約された場合は、別途違約金(残月額分)が発生します。

■ その他については、「ホスティングサービス契約約款」に定めるところによります。

DNSのレコードの書き方(正引き : Aレコード)

参考

Aレコード :

Addressレコード。名前(ホスト名称)に対して、IPアドレスを設定するレコード



レコード情報

ホスト名	レコード種別	データ
<input type="text"/>	A	<input type="text"/>

+ レコードを追加する

ホスト名	FQDNで入力(最後に「.」)
レコード種別	「A」を選びます。
データ	ホストに対するIPアドレス入力します。

例

- ウェブサーバー「www.example.co.jp」のIPアドレスが、192.168.1.101 の場合
【ホスト名 : www.example.co.jp.】、【レコード種別 : A】、【データ : 192.168.1.101】
(※ “.jp”後の“.”にご注意ください)
- メールサーバー : 「mx1.example.co.jp」のIPアドレスが、192.168.1.201 の場合
【ホスト名 : mx1.example.co.jp.】、【レコード種別 : A】、【データ : 192.168.1.201】
(※ “.jp”後の“.”にご注意ください)

DNSのレコードの書き方(正引き : MXレコード)

参考

MXレコード :

Mail eXchangeレコード。メールサーバーを設定するレコードです。

The screenshot shows a web-based DNS management interface. At the top, there is a tab labeled 'レコード情報'. Below it, there are three input fields: 'ホスト名' (Host Name), 'レコード種別' (Record Type), and 'データ' (Data). The 'レコード種別' dropdown menu is set to 'MX'. Below the input fields, there is a button with a plus sign and the text 'レコードを追加する' (Add Record).

ホスト名	ドメイン名(最後に「.」)を入力
レコード種別	「MX」を選びます。
データ	[優先度](スペース)[ホスト名]

例

- メールサーバーが「mail1.example.co.jp」、「mail2.example.co.jp」で、mail1の優先度を「10」、mail2の優先度を「20」とする場合。(優先度はメールサーバーが複数ある場合に優先順位をつけるもので、数値が小さいほうが優先順位が高いです。)

【ホスト名 : example.co.jp.】、【レコード種別 : MX】、【データ : 10 mail1.example.co.jp.】(※)

【ホスト名 : example.co.jp.】、【レコード種別 : MX】、【データ : 20 mail2.example.co.jp.】(※)

(※ “.jp”後の“.”にご注意ください。)

メールサーバーのIPアドレスは別途、Aレコードで設定します。(CNAMEは使わないでください。)

【ホスト名 : mail1.example.co.jp.】、【レコード種別 : A】、【データ : 192.168.1.201】

【ホスト名 : mail2.example.co.jp.】、【レコード種別 : A】、【データ : 192.168.1.202】

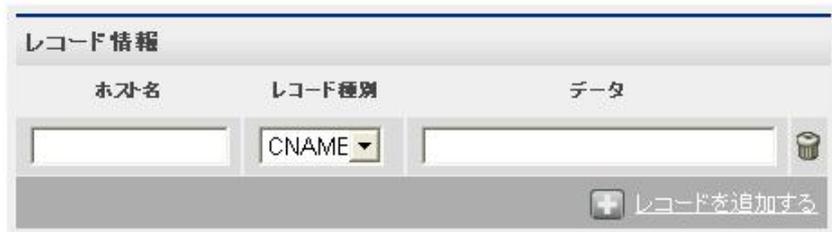
(参考 : メールサーバーを別ドメインで行なっている場合は、メールサーバーのAレコードは、別ドメインのゾーン内に記述します。よってここではAレコードは登録する必要ありません。(別ドメイン内で定義するため))

DNSのレコードの書き方(正引き : CNAMEレコード)

参考

CNAMEレコード :

Canonicalレコード。ある名前に別名を設定する時に使うレコードです。



The screenshot shows a 'レコード情報' (Record Information) form. It has three input fields: 'ホスト名' (Host Name), 'レコード種別' (Record Type), and 'データ' (Data). The 'レコード種別' dropdown menu is set to 'CNAME'. There is a trash icon next to the 'データ' field and a '+ レコードを追加する' (Add Record) button at the bottom right.

ホスト名	別名をFQDN(最後に「.」)で入力
レコード種別	「CNAME」を選びます。
データ	実際の名前を入力します。

例

- wwwサーバーに「ftp」という別名を付けたい場合(Aレコードで別途“www”の設定は必要です)

【ホスト名 : www.example.co.jp.】、【レコード種別 : A】、【データ : 192.168.1.101】(wwwサーバーのAレコード)

【ホスト名 : ftp.example.co.jp.】、【レコード種別 : CNAME】、【データ : www.example.co.jp.】(※)

(※ “.jp”後の“.”にご注意ください)

DNSのレコードの書き方(正引き : NSレコード)

参考

NSレコード :

Name Serverレコード。ゾーンがどのDNSサーバーにあるかを定義するレコードです。

The screenshot shows a web interface for adding a DNS record. It has a title 'レコード情報' (Record Information) and three columns: 'ホスト名' (Host Name), 'レコード種別' (Record Type), and 'データ' (Data). The 'レコード種別' dropdown is set to 'NS'. There is a trash icon on the right and a '+ レコードを追加する' (Add Record) button at the bottom.

ホスト名	ゾーン名(最後に「.」)を入力
レコード種別	「NS」を選びます。
データ	DNSサーバー名を入力します。

例

- 「example.co.jp.」にサブドメインのゾーンを作る場合(権限委譲する場合)、
(サブドメイン「sub.example.co.jp.」はDNSサーバー「ns11.example.co.jp.」にゾーン情報があるとした場合)
【ホスト名 : sub.example.co.jp.】、【レコード種別 : NS】、【データ : ns11.example.co.jp.】(※)
(※ “.jp”後の“.”にご注意ください)
また、この場合は別途「ns11.example.co.jp.」の【Aレコード】を登録しておきます。ただし、別ドメインのネームサーバーへ権限委譲する場合は、Aレコードを登録する必要ありません。(別ドメイン内で定義するため)

補足

- ・お客さまが申し込まれたゾーンについてのNSレコードは開通時にKDDIにて設定済です。(プレビュー画面でもご確認できます)

DNSのレコードの書き方(正引き : TXTレコード)

参考

TXTレコード :

Textレコード。ホストへのテキスト情報を設定するときに使うレコード。

SPFレコードを設定する際などに使用します。

※ DomainkeysおよびDKIM(DomainKeys Identified Mail)には対応していません

The screenshot shows a web interface titled "レコード情報" (Record Information). It contains a table with three columns: "ホスト名" (Host Name), "レコード種別" (Record Type), and "データ" (Data). The "レコード種別" column has a dropdown menu with "TXT" selected. Below the table is a button labeled "レコードを追加する" (Add Record).

ホスト名	FQDN(最後に「.」)で入力。
レコード種別	「TXT」を選びます。
データ	テキスト情報を設定します。

例

■ 「example.co.jp.」のドメインでは、MXレコードで設定されているメールサーバーからしか送信しません、と宣言する場合(MXレコードは別途設定済とする)

【ホスト名 : example.co.jp.】、【レコード種別 : TXT】、【データ : "v=spf1 mx ~all"】

■ または、IPアドレスで直接指定する場合、

【ホスト名 : example.co.jp.】、【レコード種別 : TXT】、

【データ : "v=spf1 +ip4:192.168.1.201 +ip4:192.168.1.202 ~all"】

補足

SPFレコードの詳しい説明は、ほかのウェブサイトやDNSの参考図書などに譲ります。

DNSのレコードの書き方(正引き : SRVレコード)

参考

SRVレコード :

SRVレコード。ドメイン名からホスト名に名前解決を行うためのレコード。

The screenshot shows a web interface for adding a DNS record. It has a title 'レコード情報' (Record Information) and three columns: 'ホスト名' (Host Name), 'レコード種別' (Record Type), and 'データ' (Data). The 'レコード種別' dropdown is set to 'SRV'. There is a trash icon on the right and a '+ レコードを追加する' (Add Record) button at the bottom.

ホスト名	「サービス.プロトコル.ドメイン。」 (最後に「.」を入力)
レコード種別	「SRV」を選びます。
データ	「優先度 重さ ポート ターゲット。」の形で設定

数値(優先度) + 数値(重要性) + 数値(ポート) + ドメイン形式 + ドット(数値は0~65535まで、数値どうし、数値とドメイン形式の区切りは半角スペース)で入力してください。

例

■ 利用するサービスが「SIP」、利用するプロトコルが「TLS」、ドメインが「example.co.jp」、優先度を「10」、重要性を「1」、ポートを「443」とする場合、

【ホスト名 : **_sip._tls.ドメイン.**】、【レコード種別 : SRV】、【データ : 10 1 443 example.co.jp.】 (※)

(※ “_sip._tls.ドメイン”と“.jp”後の“.”にご注意ください)

DNSのレコードの書き方(逆引き : PTRレコード①)

参考

PTRレコード :

Pointerレコード。IPアドレスに対してホスト名を設定するときに使うレコード。

レコード情報		
ホスト名	レコード種別	データ
<input type="text"/>	PTR	<input type="text"/>
<input type="button" value="レコードを追加する"/>		

ホスト名	IPアドレス+ 「in-addr.arpa.」(最後に「.」)
レコード種別	「PTR」を選びます。
データ	ホスト名(FQDN)を設定(最後に「.」)

例

- IPアドレス「192.168.1.10」は「host.example.co.jp.」と設定する場合

【ホスト名 : 10.1.168.192.in-addr.arpa.】、【レコード種別 : PTR】、【データ : host.example.co.jp.】(※)

※ 最後の"."にご注意ください。

補足 1

KDDI インターネットから払いだされたクラスC未満のIPアドレスの場合は、「h」を付けます。

例) お客さま割り当てIPアドレス : 210.141.107.192/29の場合、逆引きゾーンは、【192h.107.141.210.in-addr.arpa.】

となります。(開通時のゾーンはそのように設定されております)

【210.141.107.193】は「host.example.co.jp.」と設定する場合

【ホスト名 : 193.192h.107.141.210.in-addr.arpa.】、【レコード種別 : PTR】、【データ : ost.example.co.jp.】(※)

※ 最後の"."にご注意ください。

なお、一部のIPアドレスにつきましては「h」以外の書式で設定する必要があります。該当のお客さまは次項をご参照ください。

DNSのレコードの書き方(逆引き : PTRレコード②)

参考

補足 2

一部のIPアドレスにつきましては「h」以外の書式で設定する必要があります。

以下の通り、管理画面の左上方に記載されている「ゾーン名」(赤枠)や、あらかじめ記載されているNSレコードの「ホスト名」(黄枠)に合わせて設定します。

The screenshot shows a DNS management interface. At the top left, there is a text input field containing ".in-addr.arpa." and a green button labeled "逆引き" (Reverse Lookup), both enclosed in a red rectangular box. To the right are two buttons: "閉じる" (Close) and "確認" (Confirm). Below this are two panels: "SOA情報" (SOA Information) and "レコード情報" (Record Information). The "レコード情報" panel contains a table with columns for "ホスト名" (Host Name), "レコード種別" (Record Type), and "データ" (Data). Two rows in this table are highlighted with a yellow box: the first row has "in-addr.a" as the host name, "IS" as the record type, and "nsk0.secure.ne.jp." as the data; the second row has "in-addr.a" as the host name, "IS" as the record type, and "nsk1.secure.ne.jp." as the data. A third row is partially visible with "10.in-addr" as the host name and "PTR" as the record type.

ホスト名	レコード種別	データ
in-addr.a	IS	nsk0.secure.ne.jp.
in-addr.a	IS	nsk1.secure.ne.jp.
10.in-addr	PTR	www. com.